

一般会計予算決算常任委員会審査日程

日時 令和2年8月7日

午前10時

場所 大会議室

～審査内容～

議案第77号 令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算(第10回)について

■分科会長報告概要■

		令和 2 年 8 月臨時会
		一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第 77 号 令和 2 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 10 回) について	
担 任 事 項	総務文教分科会担任事項	
概 要	今回の補正は、歳入では繰入金の増額、歳出では厚陽地区光ファイバ整備事業よる増額、L A B V 共同事業体設立に向けたアドバイザー業務委託等による増額である。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【歳入】</p> <p>○繰入金 財政調整基金繰入金 6,930 万円の増額 令和 2 年度末の予算上の残高見込みは、15 億 5,025 万円</p> <p>【歳出】</p> <p>○企画費 《厚陽地区光ファイバ整備事業》 厚陽地区における高速ブロードバンドの整備を目的とし、光ファイバケーブルの敷設工事を行う電気通信事業者に対し補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担金、補助金及び交付金 5,810 万円の増額 <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「厚陽地区の何%ぐらいが利用可能となるのか」との質問に「事業者がこれから詳細に設計をしていくので、今、具体的な数字を示すことはできない」との答弁 ・「この事業は市の意向なのか、民間事業者の意向なのか」との質問に「これまで地域から要望を受けて、市として N T T に要望をしていたが、採算が取れないということであった。しかし、国がコロナの 2 次補正で光ファイバ未整備地区をなくす方針を出したことで、N T T から提案があった」との答弁 ・「3 月末に完成とあるが、全国一斉実施となると可能なのか」との質問に「本市は早い段階でエントリーをするので、今年度で終わる見込みである」との答弁 	

《LABV共同事業体設立に向けたアドバイザー業務委託等》

令和3年度末までの共同事業体の設立を目標に、令和2年度から令和3年度までの2か年事業として、①事業構想、実施方針の作成、②事業パートナーの募集と選定、③LABV共同事業体の設立を行う。

- ・旅費 20万円の増額
- ・委託料 1,100万円の増額

(主な質疑)

- ・「地域住民に何らかのアプローチをしたのか」との質問に「昨年11月にワークショップを開催し、地域資源、レノファや理科大を生かすようにとの意見を頂いた」との答弁
- ・「委託先のYMF GゾーンプランニングはPFIについて、アドバイザー業務の実績があるのか」との質問に「PFIに関して経験を持っている企業である」との答弁
- ・「中央福祉センター、市民活動センターが構想に含まれているが、いつ頃方向性が出たのか」との質問に「3月時点で協議はまとまっていなかったが、4月、5月でまとまった」との答弁
- ・「アドバイザー業務委託は2年契約であるが、事業全体の完成は何年後なのか」との質問に「これから共同事業体がどのような事業を考えていくかによって変わってくるので、市としては、できるだけ早く新しい形で商工センターが生まれ変わることを期待している」との答弁
- ・「商工センターの解体費は精査しているのか」との質問に「解体費は市が持つべきものと考えているが、算出していない」との答弁

【債務負担行為補正】

LABVアドバイザー業務 1,760万円